



総務省

Ministry of Internal Affairs  
and Communications

## 地域人材ネット

地域づくりとひとづくり

飯盛 義徳

( いさがい よしのり )

慶應義塾大学総合政策学部 教授



### ○ 登録者情報

所在地

神奈川県藤沢市

## 略歴

### ■略歴

1964年 佐賀市生まれ  
1983年 長崎・青雲高等学校卒業  
1987年 上智大学文学部卒業  
1987年 松下電器産業株式会社入社(富士通株式会社などに出向)  
1992年 慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程入学  
1994年 同校修了後、飯盛教材株式会社入社(常務取締役就任)  
1999年 佐賀大学理工学部客員助教授就任、鳳雛塾設立(2005年にNPO法人化)  
2002年 慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程入学  
2005年 同校単位取得退学後(2007年博士学位取得)、慶應義塾大学環境情報学部専任講師就任  
2008年 慶應義塾大学総合政策学部准教授 兼 政策・メディア研究科委員就任  
2014年 慶應義塾大学総合政策学部教授 兼 政策・メディア研究科委員就任、現在に至る  
2015年 慶應義塾大学SFC研究所所長就任  
2017年 慶應義塾大学総合政策学部学部長補佐就任

### ■公職など(一部)

NPO法人鳳雛塾理事長(ファウンダー)  
高知県・活性化アドバイザー  
2010年 総務省・ふるさとづくり懇談会委員  
2010年 総務省・人材力活性化研究会座長  
国土交通省・奄美群島振興開発審議会委員  
2015年 佐賀県地域づくりコンシェルジュ  
2017年 内閣府休眠預金等活用審議会委員、現在に至る

### ■受賞

2006年 NPO法人鳳雛塾は「日経地域情報化大賞2006」日本経済新聞社賞を受賞

## 著書・論文等

### ■博士学位論文(慶應義塾大学大学院経営管理研究科)

・「地域情報化プロジェクトにおける協働メカニズムの探究」2007年2月。

### ■著書

・『地域情報化 認識と設計』(分担執筆)、NTT出版、2006年。  
・『ケース・ブック I ケースメソッド入門』(分担執筆)、慶應義塾大学出版会、2007年。  
・『ケース・ブック II 挑戦する企業』(分担執筆)、慶應義塾大学出版会、2007年。  
・『「元気村」はこう創る—実践・地域情報化戦略—』(編著)、日本経済新聞社、2007年。  
・『ケース・ブックIV 社会イノベータ』(単著)、慶應義塾大学出版会、2009年。  
・『小学生のためのキャリア教育実践マニュアル』慶應義塾大学出版会、2011年。  
・『創発経営のプラットフォーム』(分担執筆)、日本経済新聞出版社、2011年。  
・『慶應SFCの起業家たち』(共編著)、慶應義塾大学出版会、2013年。  
・『地域づくりのプラットフォーム』(単著)、学芸出版社、2015年。  
・『日本のファミリービジネス』(分担執筆)、中央経済社、2016年。

### ■論文

・「地域にふさわしいアントレプレナー育成モデルを目指して」(単著)、日本ベンチャー学会『JAPAN VENTURES REVIEW』No.6、2005年9月、pp.63-70。  
・「地域情報化プロジェクトにおける事業創造のマネジメント」(単著)、情報社会学会『情報社会学会誌』Vol.2、No.2、2007年8月、pp.20-33。  
・「地域活性化におけるエージェントの役割—B2Bシステムによる関係仲介とヒューマンセキュリティ—」(単著)、慶應義塾大学大学院総合政策学ワーキングペーパー、2004年3月。  
・「総合的学習で育てる起業家精神—産官学連携による実践を中心に」明治図書『総合学習を創る』2006年11月号、pp.54-57。  
・「地域のつながりを取り戻す」国際大学グローバル・コミュニケーション・センター『智場』No.111、2008年4月、pp.46-54。  
・「ひとづくりとまちづくり—地域資源を生かした観光まちづくりのポイント—」慶應義塾大学出版会『三田評論』2009年3月号、pp.32-37。  
・「域学連携のすゝめ」ぎょうせい『月刊 ガバナンス』2012年10月号、pp.24-26。  
・「地域づくりにおける効果的なプラットフォーム設計」(単著)日本経営情報学会『日本経営情報学会誌』Vol. 34、No.3、2014年、pp. 3-10。  
・「域学連携のすゝめ」(単著)ぎょうせい『月刊ガバナンス』2015年度連載。  
・その他、多数。

## ○ 地域づくりとひとづくり

### 取組の内容

1999年、佐賀銀行の支援のもと、アントルプレナー育成スクール「鳳雛塾(ほうすうじゅく)」を立ち上げました。鳳雛とは、鳳凰の雛、つまり未来の英雄という意味。人材育成を通して地域活性化に役立ちたいという思いがこの名に込められています。鳳雛塾では、独自開発の教材を活用したケースメソッドを取り入れ、学びの共同体づくりを行っています。設立以来、500名以上の卒塾生が活躍しており、鳳雛塾は、地域のリーダーを志す人たちが学び合い、切磋琢磨するコミュニティとして機能しています。2005年からは、鳳雛塾の手法を応用し、全国各地で、問題を自ら発見し解決できる地域リーダー人材育成プロジェクトに取り組んでいます。飯盛義徳研究室の学生たちも各地に赴き、地域・大学連携によって、地域の内発的発展のための具体的方策を探究しています。また、慶應義塾大学飯盛義徳研究室では、全国各地で、大学連携による地域の元気プロジェクトを展開しています。地域の多様な方々との協働によって、地域資源展開、中心市街地活性化、観光振興、コミュニティ再生などのプロジェクトに取り組んでいます。

### 実績

鳳雛塾は、設立以来、500名を超える卒塾生がいます。起業を実現し大きく成長させた人、新事業を成功させた人、NPO法人を設立し地域活性化に挑む人など、多数のリーダーを輩出してきました。また、各地の地域リーダー人材育成プロジェクトでは、観光や農業などのさまざまな分野で、事業を先導する人々が生まれました。さらに、現在、学生たちとの連携による、地域資源をいかした特産物開発、展開にも取り組んでいます。

### 工夫した点や苦労した点

地域の資源を題材とした事例教材を開発して、独自のケースメソッドを実践していることがあげられます。教材の事例について深く考え、内省することで、自分で考え行動する力、主体性を養っています。また、遠隔授業を適宜取り入れ、継続的な学びができるように配慮するとともに、地域における新しいつながりを紡ぎ、創発をもたらすことを目指しています。多くの方々から、「何らかの行動を起した」「実践につながった」「地域に新しいつながりができた」などの声が寄せられています。

### ひとことPR

「実践を通じて、地域が元気になるための具体的方策を探究する」。これが飯盛義徳研究室の使命です。現在、各地での地域づくり、人材育成、伝統産業や商店街再生、農水産業活性化などの研究プロジェクトに積極的に取り組んでいます。メンバーは、自ら全国各地に赴き、自治体、NPO、企業、教育機関などさまざまな方々との協働を実現しながら、企業にも自治体にも対処が難しい地域の問題解決を図り、社会に貢献することを目指しています。

## ○ 参考

### 取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革	○	7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進		11	その他
○	6	観光振興・交流			

### 関連ホームページ

慶應義塾大学飯盛義徳研究室	<a href="http://isagai.sfc.keio.ac.jp/">http://isagai.sfc.keio.ac.jp/</a>
NPO法人鳳雛塾	<a href="http://www.housuu.jp/">http://www.housuu.jp/</a>

### 連絡先

メールアドレス	isagai〔アットマーク〕sfc.keio.ac.jp	その他	
---------	------------------------------	-----	--

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。